

「全校遊び塾」の取組が始まりました！一年間で 100の遊び体験を目標にします！ 何故現代の子はゲーム機に夢中になったのか…それは遊びを伝えてこなかった大人にも責任があります。



全校遊び塾集会



花いちもんめ



かごめかごめ



ゆうびんやさん



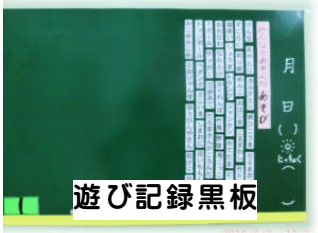
石けり



石けり (やっこさん)



石けり



遊び記録黒板

「世界一楽しい学校」を目指しての今年のプロジェクトのひとつ「遊び塾」の取組が、6月3日（金）の「全校遊び塾集会」でスタートしました。今年1年を通じて、子どもたちに出来るだけ多くの遊びを教えてあげたいと考えています。「遊び塾」で教える遊びは、①お金のかからない ②道具のほとんどいらない ③大勢の人と遊べる ④昔の人から伝わってきた遊びです。100の遊びを体験することを目標に掲げました。この1年間、子どもたちに遊びの楽しさを存分に感じさせてあげたいと考えています。



■ 進む！ 運動会の準備！ ■

左の写真は、今年の運動会の参加賞の特製マグカップ（学校のロゴ入り）です、8色あります。右の写真は、準備が進む児童製作のスローガンの看板です。

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…（その108）

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 3

学校に残されている写真の中にも、いろいろな遊びの光景があります。カラカス日本人学校で、全国から集まった先生や友だちといっしょに汗を流して遊んだことは忘れられない大切な思い出です。卒業生の中には、すでにお父さん、お母さんになっている人もいます。自分の子どもに自分がやった遊びが伝えられているでしょうか。自分の子どもに自分がよくやった遊びの話ができていないでしょうか。どうでしょう…

下の写真は、試しに2年前の遊びの写真の一部を集めてみました。左から、①おにごっこ ②福笑い ③ポートボール ④集団ゲーム ⑤野球 の様子です。写っている先生、子どもたちは笑顔満開です。子どもにとって遊びは、学習と同じくらい、大切な大切なものなのです。遊びを100知っていることで、子ども時代を豊かに生きることができると思うのです。遊びを100知っていることで友だちも多く出来ると思うのです。

カラカス日本人学校で学んだ子どもたちは、小規模校の利点を生かして、年齢のわくを越え、男女のわくを越え、師弟のわくもこえ、かけがえのない遊び体験をしたのです。カラカスの緑の風に吹かれ、カラカスの最高の気候の中、安全で広いグラウンドで共に汗を流した思い出は、一生忘れることのできないものでしょう。

